

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価総括表

○事業所名	鈴鹿市第1療育センター		
○保護者評価実施期間	令和6年12月16日		～ 令和7年1月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	47	(回答者数) 18
○従業者評価実施期間	令和6年12月16日		～ 令和7年1月17日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	20	(回答者数) 20
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年2月17日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・集団療育だけでなく、多職種(作業療法士・言語聴覚士・理学療法士)による個別訓練を実施している。	・個別訓練だけでなく、集団療育にも訓練士が参加して、多職種連携に努めている。	・専門職連携として、職員間で情報共有のための会議実施しており、個々の児童について把握し、共通認識を持てるように努めている。
2	・療育遊具やが充実しており、活動に合わせて柔軟に活用している。	・集団療育の課題に合わせて教材や環境設定などを工夫している。	・第2療育センターと連携し、物品の貸借を行うことで支援の充実を図っている。
3			

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・集団療育と作業療法の個別訓練が小学校1年生までが対象となっている。	・児童発達支援事業を重点事業として行っているため。	・言語訓練は3年生の児童までが対象であるため、訓練登所時などに保護者様へ声掛けや相談対応することで、保護者支援の充実を図っていく。  ・保育所等訪問支援サービスについては18歳まで受付・対応している。
2			
3			